

# 学校支援を積極的に進めよう

～ 学区のよさ、人とのふれあいのよさを再認識 坂崎学区ウォークラリー ～

額田郡幸田町立坂崎小学校 P T A

## 1 学区及び学校の概要

本校は、幸田町の北部に位置し、今年で149年目を迎える歴史ある学校である。学区には山々がそびえ、多くの田畑や川などの豊かな自然に囲まれている。平成22年に校区北部に新興住宅地が造成され、それ以来、児童数が増加している。かつては、全学年1学級であったが、現在の全校児童数は340名、実家庭数250の中規模校となっている。

恵まれた環境の中で育つ子どもたちは、明るく素直で、落ち着いた生活ができています。学校では「体力づくり」を推進し、継続的に活動に取り入れているおかげで、子どもは丈夫であり、欠席者も少ないのが特長である。

## 2 研究のねらい

地域の一員として生活する子どもたちが、一層地域を知り、密接な関係を築くことが大切であると考える。幸い、家庭・地域も学校に対して協力的であり、多くの支援をいただいている。この良好な関係をさらに強くし、よりよい「ふるさと坂崎」のために、P T A活動の充実を図りたいと考える。

## 3 研究の仮設

学区の自然を生かし、学校・家庭・地域（学区）が一体となった活動を積極的、継続的に行えば、地域の特徴やそれにかかわった先人の営みや苦勞を知り、さらに地域のよさ・人のよさを再認識することができるであろう。

## 4 研究の方法

親子でゆったりと自然にふれ合いながら、学区の史跡などを巡る「学区ウォークラリー」を10月に実施する。学区のコミュニティと共同開催の形をとることで、区長や公職者の方ともふれあう機会をつくる。コースについては、学区をバランスよく知ることができるよう3種類設定し、毎年ローテーションを行う。

## 5 研究の実践

### (1) 平成30年度の取組

この年は『京ヶ峯コース』と呼ばれる、全長約5.3kmのコースを歩いた。学区にある2つの山を登るため、なかなかハードであるが、その代わりに山頂からの見晴らしを楽しむことができる。ウォークラリーであるため、途中に5か所のチェックポイント設け、健康状態の確認等も行った。



右地図の①～⑤のチェックポイントで、各班のカードに通過確認のスタンプを押した。また、②の見晴台では、飴の配付と記念写真撮影を、⑤では、地域の講師の方より里山にまつわる話をしていただいた。普段見慣れた山の歴史を知り、子どもたちも思いを巡らせていた。

「山道は険しくて、登るのが大変だったけれど、お父さんと話をしながら歩いたので楽しかった。里山のこともよくわかった」「班の子やお母さんたちとも仲良くなれてよかった。自然がたくさんある坂崎だからできる行事だと思う。他の『坂崎コース』『長嶺・久保田コース』も歩くのが楽しみです」などの感想が子どもたちから聞かれ、楽しみながら活動できたことがうかがえた。

およそ2時間で、すべての班が学校に戻った。閉会行事の中で、ビンゴゲームを行い、そこでも元気な歓声をあげる子どもたちの姿があった。



## (2) 令和2年度の取組

今年度はコロナ禍において活動自体が危ぶまれたが、PTA役員会で協議の結果、安全確認等を慎重に行い、実施の方向で計画を立てた。しかし、台風接近のために昨年度に続いて中止となった。その代替行事として、「ミニミニウォークラリー」を行った。体育館のスクリーンに、実際のコースを歩いたときに見える風景のスライドを映したり、各チェックポイントのクイズや読み聞かせを、教員が地域の方を代行したりする形で進めた。班で相談するときも、子どもたちはお互いの距離を保ちながら、コミュニケーションを取っていた。親子での活動とはならなかったが、地域のよさを知ることができ、よいふれあいの時間になった。来年度もPTAが中心となって準備を進め、今年度と同じコースで実施できたらと考えている。



## 6 研究の考察

本取組は、参加者数や実施日等の修正を重ねながら、十数年行われてきている。自然豊かな学区のよさを生かしつつ、親子で話しながら地域を歩くこの活動には、多くの価値を感じることができる。コロナ禍における安全面に配慮した計画には、大変苦慮をしたが、これからも学校・家庭・地域の連携を築くPTA活動の一環として、大切にしていきたい。

## 7 成果と今後の課題

晴天案、雨天案に関係なく、子どもたちからは満足感がうかがえ、この活動の目的達成に近づけたのではないと思う。また、実施に関してはPTA役員を中心に、地域の方とも何度も話し合いがもたれ、学校との結びつきも強くなったと感じる。今後の活動も、コロナ禍において様々な制限が加わることが懸念されるが、安全面に十分配慮しながら、PTA役員や地域の方との連携を大切にしていけることを願う。